

<http://www.kinki-sha.org/>

近畿学校保健学会通信

No.156

2020年6月10日発行
 近畿学校保健学会事務局
 〒570-8555 大阪府守口市藤田町6-21-57
 大阪国際大学 後和研究室
 TEL: 06-6902-0791 FAX: 06-6902-8894
 Mail: kinkigakkohokengakkai@gmail.com
 振込口座 00940-5-181826

目 次

第67回近畿学校保健学会のご案内 2
2020年度近畿学校保健学会評議員会・総会 議題 6
2019年度第3回幹事会議事録 6
関連学会開催日程 7
編集後記 7

年会費の納入と会員勧誘についてのお願い

本学会は会員の皆様の年会費を主な財源として運営しております。2020年度の会費（3,000円）をまだ納めておられない方は、早急にお振込みくださいますようお願いいたします。

また、会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。右記のQRコードから登録ください。よろしく願いいたします。



連絡用メールアドレスの登録のお願い

学会では今後、会員の皆さまへの諸連絡も迅速に行いたく、皆さまのメールアドレスの登録をお願いいたします。また、学会ホームページを活用して年次学会の各種申込書だけでなく、学会通信等のダウンロードを検討しています。メールアドレスの登録はお名前、所属機関名、所属地区名を kinki.sch.hlth@gmail.com までお送りいただくか、右記のQRコードから登録ください。よろしく願いいたします。



ご挨拶

第67回近畿学校保健学会

学会長 楠本 久美子

(四天王寺大学 教育学部)

第67回(2020年次)近畿学校保健学会長を務めます。皆様にご挨拶とご案内申し上げます。

今年は、「東京オリンピック・パラリンピック2020」の開催年でもありましたので、今までになく健康づくりに活気づく年の年次学会開催として、その手はずを進めて参りました。会場も景観も良く、士気も高まるであろう日本一高いあべのハルカスにて開催する予定になっていました。

しかし、世界はCOVID-19の猛威に晒され、大阪は東京に次いで感染発病者が多い状況が続いていました。国内に「緊急事態宣言」が発令され、国民の生活は戦後最大の生命危機、経済危機に直面しています。開催が1年延期となったオリンピックでさえ1年後、はたして開催できるのか危惧される声も聴きます。

多方面からの情報を基に年次学会の会場開催の是非を検討し、会員の皆様の生命・健康の安全の確保及び準備も極めて困難な状況であるとする判断を共有いたしました。誠に残念ながら、会場での年次学会開催は中止となりました。

67年間という半世紀を越し、このような異常事態は初めてのことと思いますが、第67回年次学会の唯一の研究発表の足跡として「講演集」は発刊いたします。

会場開催中止並びに「講演集」発刊の決定に至るまでの間、年次学会への参加を検討されていた会員の方々、関係各位には多大なご心配、ご迷惑をおかけいたしましたことと、教育講演講師、シンポジストの方々にも多大なご苦勞をお願いすることとなり、併せてお詫び申し上げます。

年次学会は「子どもの現代的健康課題」をテーマに、教育講演「子どもの目の健康課題と色覚異常について」を湖崎淳氏にスマホやゲームの長時間使用の弊害、色覚異常の児童生徒への教育的配慮等に関するご講演内容を簡略化してご執筆いただきました。シンポジウムは教育講演を受けて、「スマホやタブレット・パソコンの利用、色覚異常の対応等、子どもの目に関する問題」と題し、小学校校長小島美幸氏、中学校養護教諭濱本祐子氏と野浦由加里氏、高等学校保健主事木村里美氏による児童生徒の至近距離による視覚弊害、色覚異常の児童生徒への対応の現況と課題及び今後の対策と指導・教育的配慮についてご執筆いただきました。

一般演題につきまして、今回研究成果を発表する機会が失われ、限られた誌面からの発表となります。しかも奨励賞応募の皆さまには受賞の機会が奪われ、想定外の驚きを受けられたことと推察申し上げます。しかしながら講演集は、研究成果をあまねく知らしめる唯一の手段として大変有効と考えます。皆様方の抄録原稿の投稿を心からお待ち申し上げます。

なお、一般演題演者及びシンポジスト、教育講演講師へのご質問・ご意見は、お取次ぎいたしますので、年次学会実行委員までお問い合わせくださるようお願いいたします。

今回の新型コロナウイルスの世界的な拡大から省みて、感染防止には、正確性の高い情報をより迅速に公開・啓発されることや経済面の早急な支援が望まれることを痛感いたしました。

近畿学校保健学会が児童生徒等の健康保持増進を目指し、さらに研究活動を深め、他学会とも連携し、社会に貢献する学会として一層の発展を祈念いたします。

第67回近畿学校保健学会プログラム

学会テーマ 子どもの現代的健康課題

発刊予定日 2020年6月20日(土)

章	内 容
一般演題	研究領域 ①安全・配慮 ②保健管理 ③大学生・保健管理 ④健康意識 ⑤発達・支援 ⑥運動 ⑦保健教育
教育講演	テーマ 「子どもの目の健康課題と色覚異常について」 教育講演講師 湖崎 淳 氏 大阪府眼科医会コメデカル部担当理事 学校医部副理事, 色覚異常専門医
シンポジウム	テーマ 「スマホやタブレット・パソコンの利用, 色覚異常の対応等, 子どもの目に関する問題」 ○コーディネーター 楠本久美子 (四天王寺大学) ○シンポジスト 湖崎 淳 氏 (湖崎眼科院長・眼科医) 小島 美幸 氏 (小学校校長) 濱本 祐子 氏 (中学校養護教諭) 野浦 由加里 氏 (中高一貫教育校中学養護教諭) 木村 里美 氏 (高校保健主事)
後援・協賛	堺市教育委員会 四天王寺大学, 関西女子短期大学 株式会社 日本学校保健研修社, 株式会社 少年写真新聞社, 株式会社 ぎょうせい, 株式会社 光生館, 株式会社 青踏社, 華道嵯峨御流飛鳥司所

プログラム（一般演題）

<安全・配慮>

- 1 A県における養護教諭の職務に関する研究（第1報）
－養護教諭の職務の現状と課題－
○入駒一美，名越民江，畑下博世，近藤純子，栗原麗羅，西井崇之，前田美穂
（東京医療保健大学和歌山看護学部）
- 2 養護教諭の複数配置校における職務推進のあり方
－人間関係を視野に入れて－
○宮慶美恵子（花園大学）
- 3 養護教諭によるヒヤリハット伝達の危機対応に関わる有効性
－小学校における事例検討を手がかりに－
○八木利津子（桃山学院教育大学）
- 4 大阪府下小・幼稚園の防災に関する意識の変化
○楠本久美子¹⁾，毛利春美²⁾，久保加代子²⁾，岡本啓子¹⁾，土居悟¹⁾，仲谷一記¹⁾
1) 四天王寺大学，2) 関西女子短期大学

<保健管理>

- 5 食物アレルギーを有する生徒の校内支援体制における課題【第1報】
－中学校・高等学校・支援学校に勤務する養護教諭への質問紙調査の結果より－
○元田綾子¹⁾²⁾，永井由美子³⁾
1) 大阪府立渋谷高等学校，2) 大阪教育大学大学院教育学研究科
3) 大阪教育大学

<大学生・保健教育>

- 6 大学生における安全度および安心感との関係
－学校安全教育の授業前後の比較－
○白石龍生（日本福祉大学）

<健康意識>

- 7 学校現場における性の多様性への意識
－公立小中学校教員への調査結果より－
○田中成子¹⁾，津田育久子²⁾，藤田圭以子³⁾，森田富士子⁴⁾，鬼頭英明⁵⁾
1) たなかや助産院，2) 津田助産院，3) 糸氏クリニック，4) 兵庫大学，5) 法政大学

<発達・支援>

- 8 保育所・幼稚園・認定こども園と小学校の連携について
一年長児担任と小学校1年担任・特別支援教育コーディネータを対象にした調査から—
○三上眞美¹⁾²⁾
1) 関西福祉大学 2) 大阪総合保育大学大学院児童保育研究科

<運動>

- 9 学びの構えの形成に関する実証的検証
—腰，ビジョントレーニング，呼吸法の導入を通して—
○新田隆子¹⁾，八木利津子²⁾
1) 立命館小学校，2) 桃山学院教育大学

<保健教育>

- 10 学校における心肺蘇生教育を教職員が実施することへの必要性
○吉田智子，岡本 希（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科）
- 11 生活習慣の主体的改善を促す指導プログラム開発のための予備的研究
—小中学生に対する改善の経験，動機，方策，阻害要因等の質問紙調査の結果—
○望月昇平¹⁾，衛藤佑喜³⁾，大西瞳²⁾，岡本希¹⁾，西岡伸紀¹⁾
1) 兵庫教育大学大学院学校教育研究科，2) 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
3) 宇治市立菟道第二小学校
- 12 中学2年生対象のポジティブなボディイメージ形成に向けた学習の実施と評価
○萩原禎美，早見直美（大阪市立大学大学院生活科学研究科）
- 13 中学生の睡眠習慣の実態に応じた睡眠教育の提案
○山本泰誠¹⁾，藤本理沙子³⁾，辻 延浩³⁾，大平雅子³⁾
1) 滋賀大学大学院，2) 滋賀大学教育学部附属中学校，3) 滋賀大学

2020年度近畿学校保健学会評議員会・総会 議題

- 議 題： 1. 2019年度事業報告
2. 2019年度決算報告及び会計監査報告
3. 2020年度予算案（事業計画）
4. 次期学会開催地及び会長

議決方法：Web投票

投票期日：2020年6月20日（土）23時59分まで

2020年度

第3回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時：2020年1月26日（日）14：00～16：00

場所：京都女子大学大阪オフィス

出席者：【幹事長】後和

【常任幹事】大川，西岡，宮井

【幹事】（滋賀）大平

（京都）井上，藤原

（大阪）楠本，古角，白石，吉岡

（兵庫）中村，森脇

（奈良）笠次，高田，辻井

（和歌山）内海，森岡

（計18名）

委任状：高野，川畑（計2名）

オブザーバー：毛利，久保

議 事：

1. 学会ホームページについて

後和幹事長より，神戸学術事業会による委託管理の終了に伴うホームページの移管について，新規レンタルサーバーとの契約，初期費用と年間利用料等の経費を含めた準備状況について説明があり，2月末の完全移管に向けて細部の確認を行いながら，引き続き作業を進めていくことで了承された。

2. 第67回近畿学校保健学会の開催について

楠本学長より，学会通信155号に掲載予定の開催要項に沿って報告があり，学会テ

ーマを「子どもの目に関する現代的健康課題」とし，2020年6月20日（土）に，四天王寺大学サテライトキャンパス（あべのハルカス23階）で開催する準備を進めているとの報告があった。事務局から，会場の都合上，参加費を事前振込みで徴収したいとの案が出されたが，専用口座の開設や手数料の負担などの課題があることから，今回は従来通りの方法で行うこととなった。また，後和幹事長より，一般演題の発表資格について，筆頭発表者のみ正会員とし，共同発表者は正会員に限定しないことが提案され，了承された。

3. 学会通信（No.155号）の発刊について

後和幹事長より，資料をもとに155号の概要の説明があった。第67回大会の開催要項を主な内容となり，表紙にメールアドレス登録のお知らせを追加すること，指摘された加筆・訂正部分を修正した後に，3月上旬に発刊予定であることが報告された。

4. 学会活性化について

後和幹事長より，会員への情報発信を活性化していくために，メールアドレスの登録を進めていくことについて説明があった。西岡常任幹事より，会員の学会発表や論文投稿を支援する活動および研修会の進め方についての案が示され，会員へのニーズ調査も行った上で準備を進めることとなった。また，優れ

た研究活動に学会から研究費を助成することについて提案があったが、年次学会補助金の増額についての意見も出され、継続して議論することとなった。

5. その他
会員数の確保に向けて、評議員の任期の変更を再考してはどうか等の意見が出され、今後、検討することとなった。

関連学会開催日程

◇日本学校保健学会（第67回学術大会）

2020年度の開催は中止となりました。詳細については日本学校保健学会ホームページ (<http://jash.umin.jp/>) をご確認ください。

◇日本養護教諭教育学会（第28回学術集会）

会 長：古賀 由紀子（九州看護福祉大学）

テーマ：学校保健活動推進の中核的役割を担う養護教諭の力量形成－養成・採用・研修を通して－

期 日：2020年10月10日(土)・11日(日)

会 場：九州看護福祉大学（〒865-0062 熊本県玉名市富尾 888 番地）

*詳細については学会ホームページ (<https://www.jayte28kumamoto.com/>) でご確認ください。

◇日本養護実践学会（第3回学術集会）

会 長：古田 真司（愛知教育大学）

テーマ：養護教諭の学会発表を「論文」につなげる「学会発表で終わりにしない学会へ」

期 日：2020年7月5日(日)

会 場：ネット上開催

*詳細については学会ホームページ (<http://yjissen.jp/meeting.html>) でご確認ください。

編集後記

年次学会開催について、学会長楠本先生、ご関係の先生方が大きな決断をなされましたことに、敬服致します。今年度の講演集には、例年にも増して大きな意味があると思います。

新型コロナウイルス感染症については、問題への対応、様々な課題の派生に高度化、複雑化した情報社会が強く関わっていること、健康・安全、経済性・効率性など様々な価値が絡み合っていることなど、社会の有り様を強く実感しました。現在、多くの犠牲を伴いながら、人や資源の制約を受けつつも、新たな対策が生み出され、未知の課題に対して試行錯誤が重ねられています。本感染症は大きな負の経験ですが、それから多くの学びが得られることを願っています。一方、この問題をきっかけに社会変革が早急に求められている印象があります。その必要性は理解できますが、このような状況下、焦らず着実な議論が行われる研究や学会の存在は貴重ではないかと思います。近畿学校保健学会からの情報発信が期待されます。

(常任幹事 西岡伸紀)